

地域の団体

今、何をしているんだろう？

庄内地区町会連合会会長 草間 秀

昨年に引き続き、庄内地区町会連合会会長を務めることになりました草間です。よろしくお願ひします。

前号で地域づくりセンター発足の記事が載っていましたので、本稿では地域を構成する各種関連団体について、紹介します。

- 最初に、町会連合会が運営に関わっている諸団体です。
  - (1) 社会福祉協議会
  - (2) 赤十字奉仕団
  - (3) 福祉ひろば事業推進協議会
  - (4) 衛生協議会
  - (5) 体育協会
  - (6) 子ども会育成会
  - (7) 防災防犯協会
- 他は、人権啓発推進協議会、明るい選挙推進協議会、緑化推進委員会等です。また、町会連合会と連携して活動する団体は、公民館長会及び公民館の活動を支援していくための組織、民生児童委員協議会、

館報

# 庄内

薄川  
公  
田川

庄内地区	
平成26年7月1日現在人口	
世帯数	6,699戸
男	7,480人
女	7,490人
合計	14,970人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

忘れえぬ松本地震 防災防犯協会 宮田 和宜

今から3年前6月30日県中部を震源とする地震が発生しました。ちょうど私は朝食の最中でした。

ゴウ音と凄まじい揺れがわが家を襲いました。幸いにして怪我はなかったものの、タンス・仏壇は倒れ、近所の屋



根瓦や土蔵の壁は崩れて無残な姿になっていました。

町会の役員であった私は、町会の公民館の被害を確認していました。そこに、多賀神社や住宅の被害情報が入ってきて、対応に追われていたことが思い出されます。

今考えると、地区や町会が組織として機能していたかという点、「線」としては機能していましたが、「点」としては必ずしも有機的ではなく、経験と勘での対応でした。いざという時の連携のために訓練の大切さを感じました。それには、身近な隣組・ブロック・町会・連合会を結ぶ連携ブレイをどのような体系で進めるのか、また、素早く状況確認をし、即座に対応がとれる仕組みづくりの大切さを感じました。今年からの大きな課題です。

今は、町会連合会と防災防犯協会、地域づくりセンターが協力して防災マップづくりに取り掛かるところです。

コラム 庄内地区今昔

庄内地区公民館報では5月30日号より、庄内地区の総人口を掲載することになりました。平成26年5月1日現在14997人、松本市35地区で3番目に大きな地区になりました。昭和26年生まれの私が小学生の昭和30年代は、庄内地区の中心の並柳・筑摩・神田は見渡す限り、田んぼと畑で車の危険を感じなく遊んでいた記憶があります。

しかし、昭和53年やまびこ道路が開通し、平成18年庄内地区土地区画整理事業が完成して、大型商業施設・公園・ゆめひろば複合施設ができ、昭和の時代と比べると、飛躍的に発展しました。生活するには大変便利な地区になりました。数字的には世帯数に大きく表れました、昭和49年5月2970戸であった世帯が、40年経った平成26年には6705戸と二倍以上の数字になりました。昔を懐かしむ私にとって、少し寂しさも感じますが、松本の東南のはずれのイメージの地区から中心的な地区に変わりつつある庄内地区になってきた感があります。(牛久保)

# 知っていますか!? この活動

## 庄内交番

所長 上原 一晃

4月に庄内交番の所長として着任しました上原一晃です。

当交番管内は、大型ショッピングセンターやスーパーが進出しており、やまびこ道路をはじめとした幹線道路も充実していることから車の出入りが激しく、追突や出会頭、右折と直進が衝突する交通事故が多発しています。松本警察署管内では今年に入り死亡事故が2件発生しており、当交番では庄内地区から悲惨な事故をなくすためにも、事故が発生しやすい交差点を重点とした交通指導・取り締まり活動を積極的に実施しております。



また、オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺について、今年4月末時点で被害額が

4億円を超え、過去最悪の被害額(約10億円)を記録した昨年を上回るペースで発生しており、知事から非常事態宣言が出されるほど深刻な状況です。この種の犯罪は、家族の絆につけこんだ極めて卑劣な犯罪であり、多額のお金を一瞬にして奪い取られてしまいます。自宅等に家族や警察官、弁護士等を名乗り、金融機関でお金を振り込む、東京にお金を持ってきて欲しい、

又はお金を取りに行くなどという電話がかかってくる時は、絶対にお金を振り込むことはせず、家族等に連絡又は警察に通報してください。「自分だけは大丈夫、騙されない」と油断しないでください。

今後も所員一丸となり、庄内地区から交通事故や犯罪を根絶するために職務に専念いたしますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 公民館の明日を語る会

副委員長 大嶋 健資

当会は7年ほど前、当時の大輪公民館長の強い意向により運営委員会より発展し、新たに公民館を中心にして活動

する方々を加えて、地区の将来を明るく、自由に話し合える場として発足しました。

以降、様々な観点より公民館活動に幅広く提言を行い、主として今年7回目を迎えるドリム庄内では企画、立案を検討し、開催に大きな役割を果たしてきました。

また、以前ではあまり検討されなかった総合的な地域づくりに果たす公民館の役割を再考し、時には叱咤し、地域のために活発な活動を促してきました。

今後も新しい意見を取り入れ、さらに自由闊達な語り合いを行い、地区住民のための公民館活動に公正な指針を与えられるよう、本来の目的を果たしてゆくことがこの会の使命であると思えます。

## 誕生しました!

今年7月2日、町会連合会など地区内の主だった団体等を中心に『庄内地区まちづくり協議会』が設立されました。

協議会は、この地区に住む皆さんが、お互いに助け合い、安心して、いきいきと暮らせるよう、地区内で活動する諸団体等と連携し、様々な課題解決に向け行動します。活動の様子は公民館報でご報告いたします。



## 図書委員会の願い

委員長 本南 静代

ゆめひろばの図書コーナーに、児童書と闘病記文庫が設置されています。特に児童書は赤ちゃんから楽しめる本を充実させています。今は「読み聞かせ」が幼児教育の大切な役割として重要視されていますが、もっと多くのママに気楽に本を手にとっていただけたらと思います。手に取った本がママの幼い頃の記憶を思い出させたり、心を癒してくれるかもしれません。絵本を通じて、子育てを楽しむ時間のお役に立てればと願って活動しています。赤ちゃんが本を汚すのではと心配せず、どうぞ本を借りて行ってください。また、毎月第2火曜日の10時半から末就園児向けのおはなし会「ゆめの会」を開催しています。お子さんと一緒にいらしてください。お待ちしております。

## 子育て委員会の活動

委員長 西口恵利子

地域のひととひとの絆をひろめ深めるために必要な公民館活動で、特に未就園児の親子を対象に活動しているのが「子育て委員会」です。地域の方や民生児童委員がスタッフとなり、公民館に来てよかったと思つて頂けるような企画を考えております。

庄内地区は、核家族や転勤族が多く、一日中子どもと向き合っているだけで会話もしなかつたり、外にも出かけられず悩みを独りで抱えている方もたくさんいます。そんなお母さん達に子育て委員会でやっている「ちびっこひろば」への参加を呼びかけています。

ママにとつてのコミュニケーションやストレス解消の場になったり、赤ちゃんにとつても刺激や遊びの場になっています。これからますます地域での見守りや子育て支援は必要になっていくと思えます。

